

松木中だより



地域運営学校八王子市立松木中学校

令和8年（2028年）6月30日

7月発行学校だより No.4

校長：柳田 裕司

matgj@hachioji-school.ed.jp

自己理解

校長 柳田 裕司

「失礼します」

校長室に放送委員会の生徒3名が来ました。

「放送委員会では7月の企画として、『先生インタビュー』を行います。校長先生のご都合を伺いにきました」

その折、放送委員会の生徒から、インタビューの8項目が記載された用紙をもらいました。このように事前に知らせてくれるのは、ありがたいことです。

後日、インタビューに備えるため、メモを用紙に記載していたところ、ある項目でペンが進まなくなりました。

ー柳田裕司で、あいうえお作文ー

もちろん、文字の条件や構成の難しさもありますが、それ以上に悩んだのが、「自分の内面を言語化すること」です。

私自身の経験で、教員としても親としても、子供に行動の原因や気持ちを聞くと、「自分でもよく分からない」という返答がよくあります。「話したくない」「本当は分かっているけれど認めたくない」、そんな心理も働いているかもしれません。ただ、「本当に分からない」こともあると思います。

「他者のことは分かるけれど、自分のことはよく分からない」、だからこそ、人は関わり合いながら、時に自己内対話をしながら、自分のよさや可能性を見つけていくことが大切なのかもしれません。

以前、長男から小学校でのある出来事を聞いた後、長男に「あなたのよいところは、『優しい』ところだね」と伝えました。傍らで聞いていた妻は頷いていました。もちろん、親としての思いや願いが込められた言葉でもあります。長男はきょとんとした表情で、私たちの顔を交互に見た後、「そうなの？」と一言。どのような反応であれ、機を逃さず伝えられてよかったと思っています。

一学期の残すところあと1か月となりました。学校でも家庭でも地域でも、子どもたちが頑張ってきたことを「認め」「励まし」、そして「今後に期待する」ような言葉掛けができればと考えています。

■ 学校評価アンケート

一学期の終わりに、学校評価に係る保護者アンケート（第1回）の実施についてお知らせいたします。ご多用の中とは存じますが、今後の松木中づくりの参考とさせていただきますので、是非アンケートへの協力をお願い申し上げます。

■ 小中連携あいさつ運動

生徒会が主体となって実施する小中連携の取組です。8月27日（木）・28日（金）に実施しますので、生徒たちの活動を応援していただければ幸いです。

